



「世界人権宣言」が、昭和23年（1948）12月10日に第3回国際連合総会において採択され、今年で60周年を迎えます。この機会に人権の大切さについて改めて考えてみましょう。

「世界人権宣言60周年」を記念して、12月4日～10日、津山市市民センター（アルネ）で「人権ポスター・パネル展」を開催します。

「アトラクション」「考えよう あなたの人権わたしの人権」、講演「ダニエルの日本見聞録」ダニエル・カールさん（タレント・山形弁研究者）



参加費 無料
※託児あり（予約要）。要約筆記・手話通訳あり
問い合わせ先 人権啓発課 31・0088

【特設人権相談所】
とき 12月4日（木）午前10時～午後3時
ところ 男女共同参画センター「さん・さん」（アルネ・津山5階）
相談員 人権擁護委員、弁護士 ※相談は無料
【人権を考へる市民のつどい】
とき 12月6日（土）午後1時～3時
ところ ベルフォーレ津山（アルネ・津山7階）

教育委員長選任

教育委員長の任期満了に伴い、9月24日に開催された教育委員会において、委員長が再任されました。

任期 平成20年10月1日～平成21年9月30日

教育委員長 岸本 伍郎 さん

市政アドバイザーからの 津山への提言



福井大学教育地域科学部准教授

水沢利栄さん（福井県）
今回は、スキー指導法などの研究を専門とする体育学研究者・水沢利栄さんに、いづれ皆が必ず迎える『老い』への課題について、実体験を踏まえた提言をいただきました。

将来について語り合おう

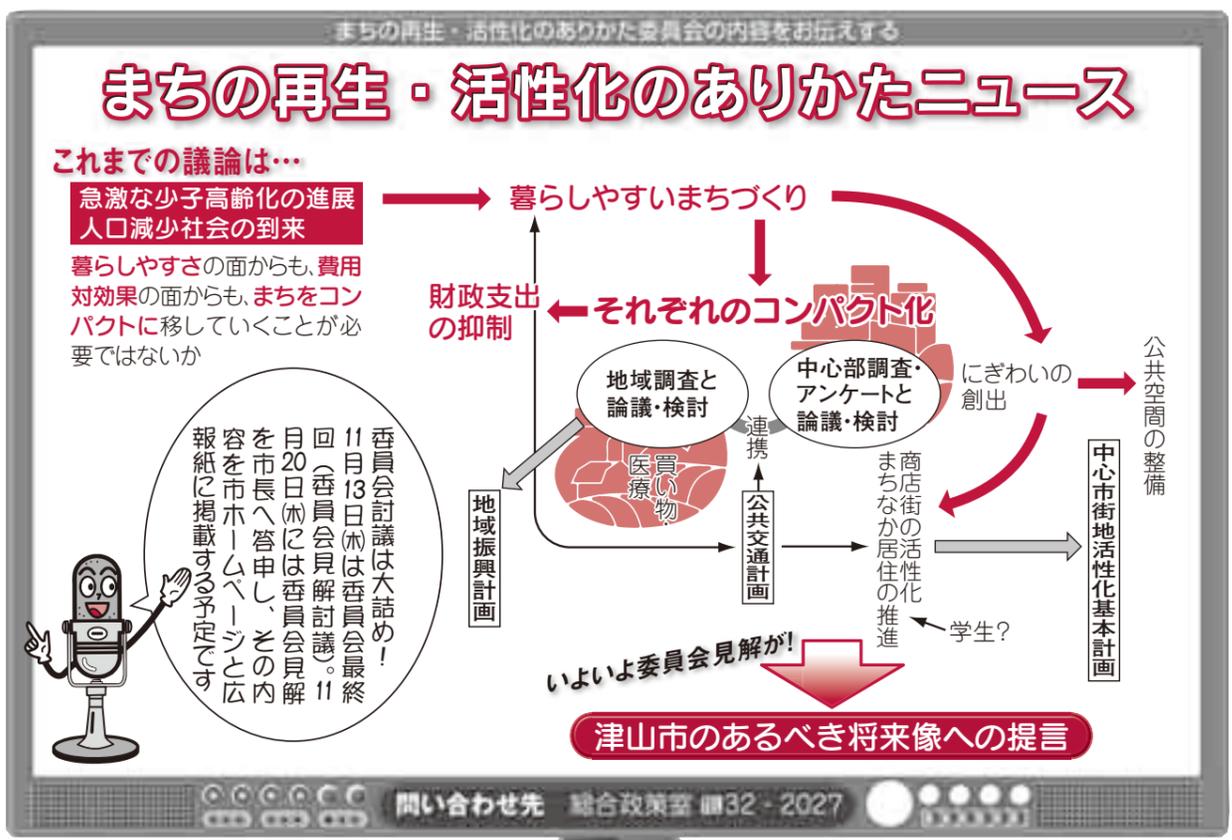
高校まで津山で育った私は『ふるさと』の歌詞のように『志を果たしていつの日にか帰らん』と常々思っていました。市内山北の実家には盆と正月に帰る程度でしたが、それが一変。5年前から月に1、2度津山に帰るようになりました。両親と暮らしていた実兄が平成15年に急逝したためです。悲しむ両親に、唯一残った息子として顔をみせる事が孝行と思ひ、ちよくちよく帰省するようになりました。

が痛みます。町内会の役回りも果たせなくなり、ご近所も高齢の世帯が多くなってきて、いわゆる市街地の「限界集落」に近い状況です。介護保険も利用していますが、遠くに暮らす息子としては不安に思いますが、福井に呼び寄せようかとも思案します。高校時代、将来こんなことになるなんて考えもしませんでした。

両親は年々老い、80歳を過ぎると日常生活に苦労するようになり、車の運転ができなくなり、近くのスーパーの廃業もあって、買い物に苦労するようになり、体調を崩した母から「病院の往復でタクシー代が5千円掛かる」と聞くとき

生活の糧や高等教育を市外、県外に依存する度合いの強い津山市にあって、若い人には自分や家族の将来について、家庭や学校で少しでも話す機会を持ってもらいたいものです。おのずと市政に対する要望も具体的に浮かんでくるのではないのでしょうか。

©みずさわ としひで 昭和34年津山市生まれ。津山高校、埼玉大学卒業、筑波大学大学院修士課程修了。福井大学助手、専任講師を経て、平成元年より現職。スキー指導法、スポーツ・リスクマネジメントについて研究。



だより

阿波支所 勝北支所

日本原保育所運動会
秋晴れの空の下 最後の運動会

阿波地区大運動会
スポーツの秋、地域皆で盛り上がる

9月23日、日本原保育所で秋の運動会が開催されました。来年度から、統合保育所が開所されるため、第35回を迎える今回が日本原保育所最後の運動会となりました。32名の園児はかけっこや玉入れ、キッズソーランなどの演技を元気に行いました。卒園生も参加したリレーや親子競技など、参加者みんなが楽しみ、最後の運動会を惜しましました。

秋晴れの9月23日、阿波地区大運動会が阿波小学校運動場で行われました。午前中は幼稚園と小学校の運動会、午後は地域を挙げての大運動会を開催。地域のきずなを「太く強く長く」との願いを込めた長縄ない競争、玉入れ、風船割り、地区対抗リレーなど。最後には全員で阿波小唄を踊り、全12種目の競技を通して、楽しく交流を深めました。